

平成19年10月24日

伊藤 國夫 様

新発田市教育委員会
教育長 大滝 昇

新発田市は塩津潟をどう認識し、市民へはどのように啓発するかについて

(回答)

平成19年10月9日付けで依頼のありました表記のことについて、下記により回答いたします。

なお、「はい」・「いいえ」で回答できない質問事項もございますので、ご了承ください。

記

質問1

いいえ 市史のご指摘の部分は「紫雲寺潟新田の開発」の記述の部分であり、後述の部分との整合性を考慮して、当時の一般的な名称で紫雲寺潟と表記したものとされます。また、次ページの略図では塩津潟と表記されており、誤解はないものと考えております。市史は発行後27年を経過しようとしており、すでに歴史的な文献となっており、当時そのように表記したことを、訂正することは考えておりません。

質問2

いいえ 正保の絵図を配付する予定はありません。

質問3

はい 歴史学習の場などで行っております。

質問4

はい 4年生の段階では充分であると考えております。

質問5

どれくらいの教師が知っているか特に把握はしておりません。
社会科の先生はある程度知っていると思っております。

質問6

どれくらいの人が知っているか特に把握はしておりません。

質問7

旧加治川村民には村誌で説明しております。
児童には副読本で「塩津潟と呼ばれていた」と説明しております。

質問 8

いいえ 県では、名称が二つあることは事実であり、どちらも間違いでないとの見解であります。県立歴史博物館には、塩津潟と書いてある正保の絵図も展示してありますし、紫雲寺潟と書いてある享保の絵図（原寸大の複製）も展示してあります。それで良いのではないのでしょうか。

質問 9

いいえ 1709年の文書に「紫雲寺潟」の名称が出ているそうです。また、1721年の享保の絵図にも紫雲寺潟とあります。

質問 10

はい

質問 11

はい

質問 12

胎内市の実状については、承知しておりません。

質問 13

はい 康平の絵図もその後の寛治の絵図も、偽作であると確認されております。
(新潟日報 2007年3月16日)

質問 14

いいえ 平成14年の歴史ページントで取り上げております。

質問 15

前段：理解されていないわけではないと考えております。
後段：平成19年4月12日付け回答のとおりであります。

質問 16

平成19年3月7日付けで回答のとおりであります。

質問 17

はい